

平成25年度 第2回生駒市子ども読書活動連絡調整会議 会議録（要約）

日 時： 平成26年2月27日（木）午後3時00分から

場 所： 図書会館 第二研修室

【参加者】 岩崎れい、松田孝一、平井富久子、島谷佳子、山中和幸、安田潤子
（欠席）森田桂子、奥本恵、真銅宏、伊東英治、桑田恵美子

【事務局】 向田真理子、平澤佐千代、清水淳子、春名己容子、深谷里子（以上図書館）

1 開会

2 案件

（1）平成25年度事業報告について

◎第1回会議（7月12日）

- ・平成25年度事業計画の検討
市内学校図書館見学（案）⇒了承
- ・子ども読書活動推進フォーラムの報告
平成25年2月27日(水) 図書会館にて開催（県主催・生駒市図書館共催）
テーマ：生駒市学校図書館司書の小中学校全校配置について

◎市内学校図書館視察（11月8日）

学校図書館司書全校配置後の学校図書館の現状視察を目的として、上中学校とあすか野小学校を訪問。両校の司書教諭と学校図書館司書の案内で図書館を見学。市内の小学校・中学校の学校図書館司書も全員参加。

◎参加者の意見

- ・市内図書館見学は良い取り組み。学校図書館司書が参加したことも、力量アップに繋がり有意義であった。今後もこのような取り組みを続けてもらいたい。学校現場と社会教育の相互理解が進んでいることも実感した。
- ・学校図書館司書は成果をあげておられる。市内他校の実情も見学したい。今の中学生の読書傾向がわからないが、学校図書館には、生徒を文学性の高い本に導いてもらえることを期待したい。

- ・学校図書館司書が入って子どもたちは本が借りやすくなった。学校図書館のポスター掲示や本の展示を楽しみにしているようだ。大瀬中学校文化祭で保護者向けに本を貸し出し、子どもを通じて返却するという試みがあった。良い試みなので、今後も継続し、他校にも広げてほしい。
- ・小・中学校の中であって、お母さんボランティアが飾りつけをしておられる図書館は、子どもたちがほっとできる場所。小学校と連携して、進学する園児が小学校生活へ段差を感じないで移行できるようにしたい。幼稚園でも空き部屋に絵本を並べて図書室にしたいが、整理が難しい。
- ・まずは子どもを図書館に来させること、読まなくても図書館へ来ること、読みたい気持ちにさせることが大切。学校図書館に司書が配置されたのは有難い。先生たちも図書館について学習している。子どもたちの来館が増えるのは、国語力アップの意味でもよいこと。
- ・学校図書館司書が実力アップし、保護者も学校に協力すれば、コミュニケーションが深まる。保護者の目が学校に入ることが大切。学校図書館と公共図書館が相互理解を深めることも大切。幼・小・中が連携して、子どもの発達をなだらかに繋いでいく必要がある。シンガポールのインターナショナルスクールには、中高生用、小学生用、幼稚園児用の図書館がある。幼稚園の図書館は小学校図書館なみに立派で、NDCとは別の「色・絵・文字」で分類されており、レゴの本の隣にレゴブロックが置いてあったりする。

(2)平成26年度事業計画(案)について

◎先進地視察

- ・近江兄弟社学園中学校・高等学校の図書館視察について検討。
1933(昭和8)年創立の併設型中高一貫校。
⇒事務局で日程等具体的に立案し、来年度の初回の会議で諮る。

◎参加者の意見

- ・学校図書館司書も参加が叶えばよいが。研修のチャンスは活用すべき、出来るだけ多く参加してもらいたい。